

みんなの登山物語～登山を通して脳力を鍛えよう～



【期日】 2024/8/5 ～ 2024/8/8
 【対象者】 北海道内の小学5年生～6年生
 【参加人数／募集人数】 24 / 25



1. 趣旨

今まで学校で学んだ知識や経験を関連付けながら、登山の準備や実践を行うことにより、今後の学習における探究力を高める一助とする。

2. プログラム内容

日時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
8/5 (月)							13:00 集合	開講式	①活動	②講義・演習	夕食	②講義・演習	入浴・休憩	就寝		
8/6 (火)	起床	朝食	準備	③軽登山			弁当	休憩	④演習		夕食	④演習	入浴・休憩	就寝		
8/7 (水)	起床	朝食	移動	⑤登山 (弁当屋食含む)						移動	夕食	お楽しみ会	入浴・休憩	就寝		
8/8 (木)	起床	朝食	清掃	点検	⑥演習		閉講式	12:00 解散								

3. 活動内容

①活動「チームワークを高めよう」

開講式後に参加者同士・グループ内の交流としてアイスブレイクを行い、一緒に登山するグループのメンバーとの関係を築いた。



②講義・演習「軽登山の計画を立てよう」

宿題の間違った問題や分からなかった問題をグループ内で確認し、翌日の軽登山（交流の家～望岳台）の登山計画を立て、持ち物の準備をした。



③実習・軽登山「望岳台まで登ろう」

1日目に立てた登山計画をもとに、軽登山（交流の家～望岳台）を行った。道迷いなどのトラブルもあったが、仲間と協力して活動することができた。



④演習「登山計画を立てよう」

軽登山の振り返りを行い、翌日の十勝岳登山の計画と準備をグループごとに行った。



⑤実習・登山「十勝岳に登ろう」

2日目に立てた登山計画をもとに、十勝岳登山（望岳台～スリバチ火口）を行った。登るペースの管理や天候の変化、休憩のタイミングなどはグループで協議・対応しながら目的地を目指した。



⑥「お楽しみ会」・演習「ふり返り」

最後の夜はお楽しみ会で花火や焚き火でのマシュマロ焼を行い、最後の夜を楽しんだ。最終日は事業を通して身に付いた力、わかったことなどをグループでふり返り、全体で共有した。



4. アンケート結果

質問：事業全体に対しての満足度をお答えください。（人）

たいへん満足	やや満足	やや不満	たいへん不満
20	4	0	0

5. 参加者の声

- 今後、登山に行くときに自分で計画を立てたり、登山の道具や持ち物を準備したりするのに、今回身に付けた「考える力」を役立てたい。
- 今回身に付けた、話し合いをして思っていること相手に伝える力を、今後の学校の授業や委員会活動などに応用して役立てていきたい。
- 算数が苦手なので、登山物語で身に付いた算数力を学校で活かしたい。そして、人と協力することの素晴らしさに気付いたので、いろいろな場面で役立てたい。
- 今後何か物事を行う際は、「時間はどれくらいかかるか」、「道具は何が必要か」などいろいろなことを考えて、事前に準備しておくことを意識したいと思った。
- 大人になって社会に出て働くときに、今回身に付けた仲間と話し合いをし、協力することはとても役立つと思った。

6. 事業の成果

- 登山計画を立てているときに、「実際に登山に使える計算楽しくない?」、「こういう勉強好きだわ!」などとグループ内で会話している参加者もいて、学習を前向きに取り組む事ができた。
- 最初はあまり発言せずに、グループ内では聞き役だった参加者が活動を重ねる中で、「ちょっと聞いて」と自ら積極的に意見を述べるなど、自分の意見をしっかりと主張する姿が見られた。
- 1カ月後の保護者アンケートでは、「自信を持って行動するようになった。」、「自分で考えて行動することが出来るようになってきた。」、「小学校1年生の時からずっと学校まで毎朝ほぼ車で送っていたが、徒歩で通学するようになった。」などの感想があった。事業の経験が参加者の自主的・自発的な行動につながった。
- ボランティアが参加者の自主的・自発的な活動を促すためにどのように関われば良いかを自ら考え、職員との打ち合わせを重ねる中で、悩みながらもボランティア自身も成長することができた。